



JCITC NEWS

2019
Vol.7

公益財団法人 **日本建設情報技術センター**

就任インタビュー - 聞き手 代表理事 吉田 六左工門 -

国土交通省事務次官 藤田 耕三氏

国土交通省技監 山田 邦博氏



Q：2020東京オリンピック・パラリンピックが終わった後の建設工事の工事量の見通しを教えてください。

安定的・持続的に必要な予算を確保し、事業量を確保していくことが大事だと考えています。オリンピックが終わってからも基本的にはそういう考え方でやっていきたいと思っていますし、維持管理を含めてやらなければならないことが沢山ありますので、そういう意味では必要な額をしっかりと確保していきたいというのが基本です。なるべく安定的な事業が行き渡るような環境を目指していきたいと思っています。

Q：港湾整備によって大型客船寄港や高潮や高波予防などの効果ができているのではありませんか？

防災との関係で言うと切迫性の高まっている南海トラフ地震や、台風も非常に大きなものが発生していることもあって海岸保全や防波堤の整備が大事になっていると思います。例えば昨年、大阪に台風21号が襲来し関西国際空港等が大きな被害を受けました。この時の潮位は、史上最高の潮位を記録し13万戸の浸水が生じた昭和36年の第2室戸台風以上でしたが、大阪市内の浸水は全くありませんでした。海岸や河川堤防等のインフラ整備がなされたひとつの効果なんだろうと思います。その被害防止の効果を試算すると、約17兆円という試算結果もあります。整備の効果がちゃんとできているのだと思いますし、今後も災害に備えて色々な手を打っていくと同時にきちんと説明しながら整備をしていく必要があると思います。

Q：BIM/CIMの今後の展開についてお聞かせください。

2016年の未来投資会議で、政府の方針として安倍総理から「建設現場の生産性革命において2025年度までに建設現場の生産性2割向上を目指す」という方針が示されており、生産性向上のエンジンであるBIM/CIMについては「未来投資戦略2018」で積極的に拡大を図る状況にあります。特に土木分野では平成24年度からBIM/CIM活用業務工事の試行を開始し、平成28年度には「CIM導入ガイドライン」を策定し、平成30年度までに累計で630件の業務、工事にBIM/CIMを活用しています。

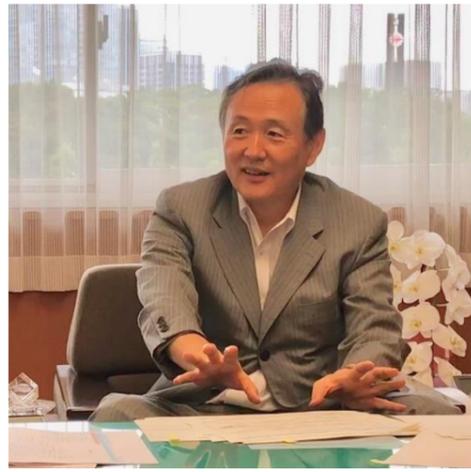
BIM/CIM推進委員会では、建設生産・管理システム全体で3次元データ等を利活用するための検討を実施しています。具体的には、基準・要領等の整備、国際標準への対応等を含め、BIM/CIMの推進に関する検討を行っており、BIM/CIMの普及・拡大として今年度中に業務、工事において400件のBIM/CIM活用を目標としています。そして令和2年度にIFC5.0策定を見据えBIM/CIM運用の加速化にむけ、ロードマップの作成に取り組んでいるところです。

Q：新・担い手3法でどのように変化していきますか？

新・担い手3法では、適正な工期による契約の締結、施工時期の平準化の推進、監理技術者に関する規制の合理化など働き方改革や生産性向上、そして持続可能な事業環境の確保につなげていこうというのが趣旨だと考えております。特に品確法では適正な工期設定・施工時期の平準化のほか、i-Constructionによって生産性向上を推進し普及・拡大していこうという取り組みも進めたいと考えております。しっかり充実した運用指針の改定を行い、さらにそれを運用していくということにより長時間労働の是正、週休2日の確保といった働き方改革にも取り組んでいきたいと思っております。

Q：少子高齢化に鑑みると、富山市や宇都宮市のようなLRTの整備の今後の展開はどのようにお考えですか？

人口減少から言うと街のコンパクト化は非常に大事な課題だと思います。長期的な取り組み時間をかけながらなるべくコンパクトな街を作るといふときに、交通の軸をはっきりさせながらなるべくその周辺に居住なり商業施設なり集約していく努力が必要になります。LRTというのはそういった交通の軸になりうる手段なんだろうと思っています。富山市のケースは、交通機関としてみたときに元々JRの富山港線を使ってLRTを整備し、新幹線の下に駅を入れるとか、運営面においてもバスの接続を良くしたり、運賃も一定にしたりと非常に良い工夫をされています。更に土地利用も誘導する様な努力をされています。宇都宮市の方は全線新線建設ということではじまる国内初のケースになるので、「街作り」という意味でも将来的に非常に期待しています。国土交通省では、富山市で使った上下分離という仕組みを導入したり、あるいは社会資本整備総合交付金で支援も行っており、各自治体単位で工夫を凝らして交通の「街作り」を一体で進めるという取り組みを進めていただくと非常にありがたいと思います。



Q：最近は大雨や台風による災害が記録的に増えており、特段の取り組みをしなければならないのかなと思いますが、このあたりはどのようにお考えですか？

気候変動は明らかだという研究もあり、その中で災害が激甚化、頻発化していることも事実で、以前から水防災意識社会の再構築ということでビジョンを掲げ、防災・減災、国土強靱化に対する取り組みを加速化・進化させようとしている段階です。そのために事前防災ということが非常に重要です。

2014年の例ですが、京都市内では渡月橋に水が被ってしまい、下流の地域では堤防の上から水が溢れ、水防団の方が土嚢を積んでなんとか破堤を免れました。もし破堤が実際に起こっていたら、1兆2000億円の被害が生じていたと思いますが、これを防いだのはもちろん水防団の方の懸命な努力もありますが、4000億円で造った上流にあるダム群が水を貯めるなどして破堤を防いだわけです。この4000億円のダム群で1兆2000億円の被害を防いだと。しかもダムは1回使ってなくなるわけではないので、何回も対応ができ、費用面、経済面からみても事前防災は非常に重要なことだと思います。

また、気候変動にあわせ20年、30年後の中期計画を見直し、その計画を元に河川の対策等を行うこと、そして水害タイムラインというものを作り、運用していくことも大事だと考えています。役所、警察、消防、企業、民間等それぞれが、いつ誰がどうすべきかを事前に考え、シミュレーションします。またマイタイムラインといって、自分は何をすべきかを前もって考えておく、実際の行動を個人ベースでも考えることによって、水害対応タイムラインというものを皆さんにどんどん作っていただけて避難態勢、避難警戒態勢につなげていきたいとそんなふうに考えています。

Q：色々と温度差があるBIM/CIM施工ですが、定着にはどれくらい時間を要するか、また何かお考えがありますか？

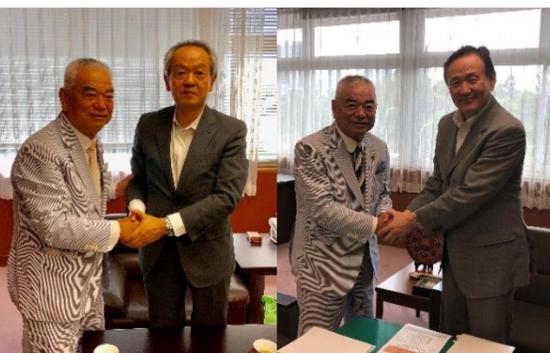
ご存知の通り、BIM/CIM推進委員会というものを作り、その下に建設分野における複数の検討ワーキングを設置しまして、その中で検討を重ねBIM/CIMの運用を拡大し、こういう基準・要領等を作りましようとか、「新3次元データ利活用方針」といってこれからは3次元で上流から下流までやっていこうという未来を目指しているところです。

BIM/CIMの活用実績は、業務と工事で平成30年度で212件やっていますから、令和元年度は400件くらいの実施を目指していこうと思っています。

これまでは大規模構造物の詳細設計について原則適用してきましたが、さらに詳細設計をBIM/CIMで行った工事も原則適用することとしました。大規模構造物についてはその前の概略設計や予備設計についてもBIM/CIMの活用を積極的に推進していく予定です。いつ全部できるかを明言する事は難しいですが、これまで建物を中心にBIMは進んでいましたけれども、大きな構造物、堰とか水門とかそういったものが、原則BIM/CIMという方向にしていきたいと考えています。

Q：i-Construction貫徹に向けてモデル事務所を設置していますが、今後加速化に向けてどのような施策をお考えですか？

調査設計から維持管理までBIM/CIMを活用して、3次元データの活用やICT等の新技術の導入を加速化させる3次元情報活用モデル事業を、実際に自分達がやるというのがi-Constructionのモデル事務所です。10事務所あります。そしてICTをフルに活用しようということでICTフル活用工事の実施をしていこうということと、駆け込み寺のように地方公共団体や地域の企業等のi-Constructionの取り組みをサポートし、普及拡大を図るといふのがサポート事務所です。53事務所あります。その他の事務所においてもICTの活用・拡大を、原則i-Constructionを実施していこうと思っていますが、特



にこの10事務所と53事務所積極的にやっていこうと思っています。加えてICT施工拡大に向け、土工、舗装工、浚渫工、地盤改良工、法面工、付帯構造物設置工と、順次必要となる基準類を整備しました。現場は現場で実際に実施する人へのサポート、本省はそれを可能にする基準の改変をしていこうと考えています。

ICT施工はBIM/CIM化へのPrelude (前奏曲)



国土交通省 後援 建設産業育成支援セミナー

2019年度セミナー予定 (103ヶ所) / 2018年度セミナー実施 (105ヶ所)

三重県	津市
	津市
滋賀県	大津市
	大津市
京都府	福知山市
	福知山市 京都市
大阪府	大阪市
	大阪市
兵庫県	洲本市
	洲本市 西宮市
奈良県	橿原市
	橿原市 大和高田市
和歌山県	和歌山市
	和歌山市 田辺市



2019年6月19日 和歌山セミナー会場



2019年8月7日 高松セミナー会場

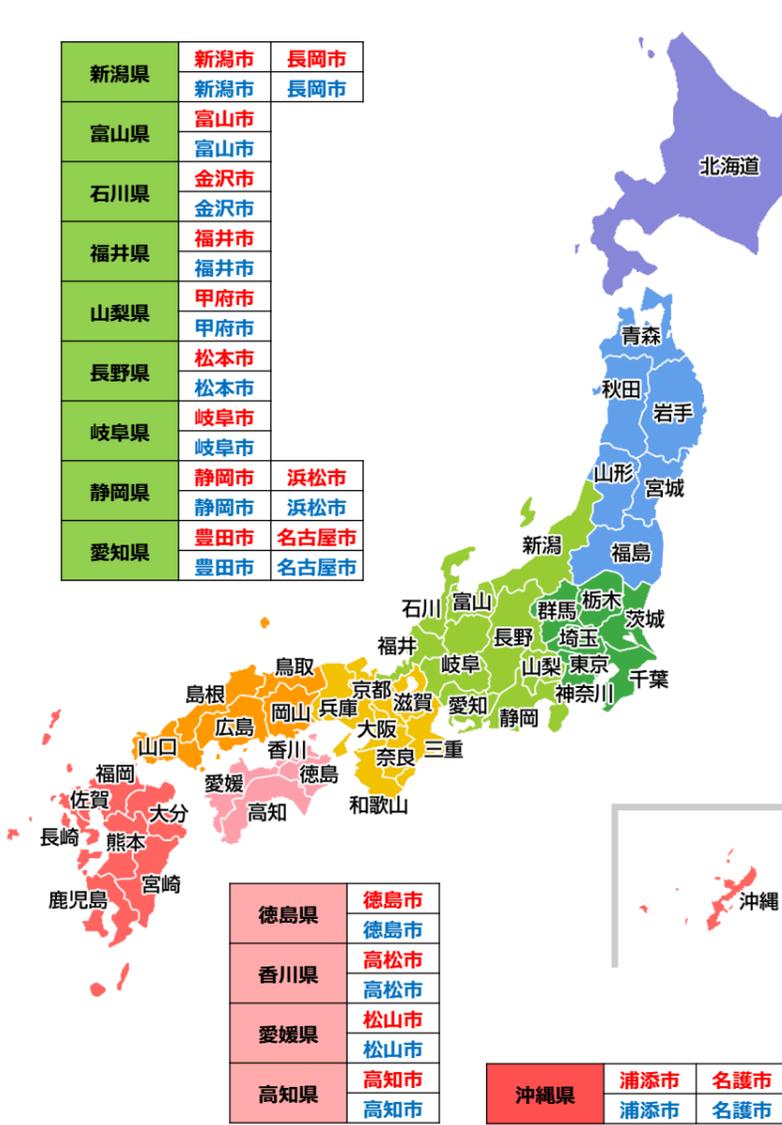


2019年5月10日 佐賀セミナー会場

鳥取県	鳥取市
	鳥取市 米子市
島根県	松江市
	松江市
岡山県	岡山市
	岡山市
広島県	広島市
	広島市
山口県	山口市
	山口市 萩市

福岡県	福岡市
	福岡市 北九州市
佐賀県	佐賀市
	佐賀市
長崎県	諫早市
	諫早市
熊本県	熊本市
	熊本市
大分県	大分市
	大分市
宮崎県	宮崎市
	宮崎市
鹿児島県	鹿児島市
	鹿児島市 鹿屋市

新潟県	新潟市
	新潟市 長岡市
富山県	富山市
	富山市
石川県	金沢市
	金沢市
福井県	福井市
	福井市
山梨県	甲府市
	甲府市
長野県	松本市
	松本市
岐阜県	岐阜市
	岐阜市
静岡県	静岡市
	静岡市 浜松市
愛知県	豊田市
	豊田市 名古屋市



北海道	旭川市
	旭川市 札幌市 函館市

青森県	青森市
	青森市 八戸市

岩手県	盛岡市
	盛岡市

宮城県	仙台市
	仙台市

秋田県	秋田市
	秋田市

山形県	山形市
	山形市 三川町

福島県	郡山市
	郡山市 福島市

茨城県	水戸市
	水戸市

栃木県	宇都宮市
	宇都宮市

群馬県	前橋市
	前橋市

埼玉県	さいたま市
	さいたま市

千葉県	千葉市
	千葉市

東京都	新宿区
	新宿区 立川市

神奈川県	横浜市
	横浜市 厚木市

セミナーアンケート回答の集計結果について (2018年9月~2019年8月実施分)

お陰様でこの1年間(2018年9月~2019年8月)で本セミナーへ延べ5,476名の方にご参加いただきました。セミナー時に皆様にご協力いただいておりますアンケートの集計結果を取り纏めましたのでご参考ください。

問. ご回答者の組織内での立場 (複数回答可)

項目	回答数	回答数 (グラフ化)
1 会社経営層	620	
2 営業責任者 (営業所長、営業部長等)	169	
3 営業担当	275	
4 積算担当	333	
5 総合評価対応専任部署	139	
6 工事 (工務) 部門管理者	839	
7 工事 (工務) 部門担当 (内勤)	254	
8 現場管理者 (現場技術者)	3821	
9 その他	106	
合計	6556	

問. 今後特に注力していきたい管理について (複数回答可)

項目	回答数	回答数 (グラフ化)
1 施工計画	1932	
2 工程管理	1299	
3 品質管理	1947	
4 現場 (利益) 管理	2034	
5 安全管理	1957	
6 その他	48	
合計	9217	

問. 今後希望されるセミナー内容について (複数回答可)

項目	回答数	回答数 (グラフ化)
1 i-construction	1986	
2 工事成績評定	1855	
3 働き方改革	2034	
4 総合評価入札方式	611	
5 工事実績管理	432	
6 原価管理	633	
7 土木積算	776	
8 BIM/CIM	654	
9 安全管理	948	
10 その他	14	
合計	9943	

問. ご意見・ご要望

工事施工における新技術等の講習があれば、受けてみたい。
時代の流れで考える必要があると思う。とにかく若者の技術者が育たないので困っている。この講習がすべてを解決するとは思わないが何かの糸口になればと思う。3次元の設計データを使用して少ない人数で工期短縮できれば理想です。
土工でICT施工が使われてきているが、その他の職種でも使えそうな情報があれば少しでも良いので紹介してほしい。
ICT施工を行って思った事で、人員も少人数で出来たうえ施工管理も少ない時間で行え、制度管理も思った以上によく検査時も説明しやすかった。
働き方改革についての内容がすごく解りやすく現場での対応の参考になった。弊社では女性技術者が働いており、現場環境の整備等を見直す良い機会になった。利益・時間が重要と感じていた人が最も大事である。

よくあるご質問 ~事務局より~

皆様からお電話でお問い合わせをいただく内容の一部を下記に取り纏めました。

- Q** セミナーの申込み方法は？
A. JCITCのホームページよりお申込みください。画面右上「セミナー申込み」をクリックするとセミナー開催一覧が表示されます。参加ご希望のセミナーをクリックすると開催概要が表示されますので、概要画面最下部の「お申込はこちら」をクリックし申込みフォームへ進んでください。
- Q** セミナーの受講者の変更は可能ですか？
A. 可能です。お電話、メール、FAX等で事務局までお知らせください。
- Q** セミナーの受講票はいつ届きますか？
A. セミナー開催日約1週間前にFAXにて送付します。
- Q** 申込み締め切り後の追加申込みは出来ますか？
A. 空き状況に応じご案内できますので、まずは事務局までお問合せください。
- Q** セミナーに出席できなくなったのですが...
A. 開催日当日の正午までに事務局までご連絡ください。
- Q** CPDS技術者証(カード)を持っていないくても受講する事は可能でしょうか？
A. 可能です。但しカードを持参いただけずとその後の処理がスムーズです。CPDSユニットの登録については、事務局までお問合せください。

今後もより早く有用な情報をご提供できる様、財団一丸となって総力を挙げていきます。



公益財団法人
日本建設情報技術センター
Japan Construction Information Technology Center

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル3F
TEL : 03-5368-1448 / FAX : 03-5366-5132

E-Mail: info-org@jcitc.or.jp
URL: https://www.jcitc.or.jp

Vol.7 2019 JCITC NEWS

2019年10月1日 発行
企画・編集・発行 公益財団法人 日本建設情報技術センター

※本紙掲載記事の無断転載を禁じます。

@2019 Printed in Japan

